



# 平和首長会議ニュース

2019年6月 / 第114号

平和首長会議加盟都市数  
163 国・地域 7,764 自治体  
日本国内加盟自治体数：1,732  
(2019年6月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

## <<今号の内容>>

- ◆第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の出席確認中です
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2019の作品を募集します
- ◆米国の核実験に対し抗議文を送付しました
- ◆国際平和デー100日前メッセージを発出しました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 国・地域 7,764 自治体

## ■第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会の出席確認中です

6月11日にEメールでご案内したとおり、第9回国内加盟都市会議総会のご出席及び総会における自治体の取組事例報告の希望の有無を照会させていただいています。

本総会への出席をご検討いただき、Eメールに添付した「出席連絡票」により、7月8日(月)までにご回答ください。一人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

➤ 期日: 令和元年(2019年)10月24日(木)、25日(金)

➤ 場所: 24日: くにたち市民芸術小ホール(東京都国立市富士見台二丁目48-1)

25日: ホテル日航立川東京(東京都立川市錦町一丁目12-1)

詳細については、6月11日にEメールでお送りした案内をご確認ください。

▼国内加盟都市会議総会のこれまでの実施状況や出席者については、平和首長会議ウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/index.html>

=====  
**■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2019 の作品を募集します**  
=====

平和首長会議では、行動計画(2017年-2020年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト 2019 を実施します。

- 募集部門:
  - ①「6歳から10歳部門」 ②「11歳から15歳部門」
- 応募点数:
  - 1都市につき各部門5作品まで

▼絵画コンテストの詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご確認ください。

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019\\_Art\\_Competition.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019_Art_Competition.html)

▼作品提出・問い合わせ先:

Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

◎提出期限:

令和元年(2019年)9月30日(月)

=====  
**■米国の核実験に対し抗議文を送付しました**  
=====

[2019年5月27日]

米国が、本年2月13日にネバダ州で、核爆発を伴わない臨界前核実験を実施していたことが判明しました。これに対し、平和首長会議は5月27日、ドナルド・トランプ米国大統領に抗議文を送付しました。

▼抗議文(平和首長会議ウェブサイト):

[日本語訳](#)、[英語原文](#)

=====  
**■国際平和デー100日前メッセージを発出しました**  
=====

[2019年6月13日]

1981年、国連総会は、国際平和デーを設ける決議を全会一致で採択しました。その中には「国連及びその加盟国並びに全ての人々の力を結集して平和の理念の普及を図り、あらゆる手段を用いて平和実現への決意の証を示すための特定の時間を設ける」ことが盛り込まれています。これを受け、2001年の国連総会において、毎年9月21日を国際平和デーとして非暴力と停戦の日とすることが採択されました。国連は、この日一日敵対行為をやめること、また、全人類の平和や福祉に関する問題についての啓発事業を開催することを世界の人々に呼び掛けています。

平和首長会議も、「国際平和デー」の理念に賛同し、これまで世界各地に記念行事開催の呼び掛けを行ってきました。国際平和デー100日前に際し、松井会長からのメッセージをお届けします。平和首長会議加盟各自治体におかれましては、こうした趣旨をご理解いただき、2019年の国際平和デー記念行事を開催してくださいますようお願いいたします。

▼国際平和デー(2019年9月21日)100日前メッセージ(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/mailmag/pdf/190613\\_IDP100day\\_message\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/statement/mailmag/pdf/190613_IDP100day_message_J.pdf)

▼International Day of Peace 21 September(英語)(国連ウェブサイト):

<http://www.un.org/en/events/peaceday/>

\* 貴自治体で開催する国際平和デー記念行事の内容について、次のメールアドレスまでご一報ください。平和首長会議ウェブサイト等でご紹介いたします。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 56 回）**

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]  
=====

米国が爆発を伴わない臨界前核実験を 2 月に実施していたことを受け、被爆地広島で、トランプ政権に対し、座り込みや自治体による抗議などの動きが相次ぎました。原爆資料館（広島市中区）は、「最後の核実験からの日数」を表示する地球平和監視時計をリセットしました。

米国がこの臨界前核実験をしていたことを明らかにしたのは、トランプ大統領が来日する前日でした。核兵器を人類史上初めて戦争で使用した国のトップが、その非人道兵器を落とした国を訪れる前日です。外交の常道として訪問先の国の微妙な問題に配慮するのは当然です。あえて前日を選んだとしか考えられません。

また日本側もその発表を事前に知らされていて不思議はありませんが、政府が表舞台でこれに抗議したようには見えません。これでは外交的に言えば、「両国は、核兵器に関する問題は両国間における重要度が低いことを確認した」というメッセージと受け止められかねません。地球平和監視時計がリセットされるたびに、ある種の脱力感に襲われますが、被爆地からは粘り強く核兵器廃絶、そしていかなる核実験にも反対する訴えを続けなければいけません

関連記事は次のアドレスで読めます。

○原爆死没者名 心を込め 広島市が名簿記帳始める

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=91421>

○被爆二世の会 米国に抗議文 臨界前核実験

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=91265>

○臨界前核実験で日本被団協抗議 米大使館へファクス

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=91225>

○被爆地広島 抗議広がる 米臨界前核実験 平和監視時計 またリセット

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=91203>

○平和宣言案作り着手 広島市長ら懇談会初会合

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=91179>

=====  
**■平和首長会議メンバーシップ納付金にご協力をお願いします**  
=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動の活発化と、連帯意識のより一層の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、平成 27 年度から 1 自治体当たり年額 2,000 円の負担をお願いしています。

加盟自治体の皆様へは、本年 4 月 1 日付けで請求書等を郵送しております。納付金の納付期限は 6 月 28 日（金）となっておりますので、ご対応のほどよろしく願いいたします。また、納付が困難な自治体の皆様におかれましては、その旨をご連絡いただけますようよろしくお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない自治体があったとしても、その自治体に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

皆様のご協力をお願いいたします。

▼Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX: 082-242-7452

=====  
**■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています**  
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO 等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでもお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

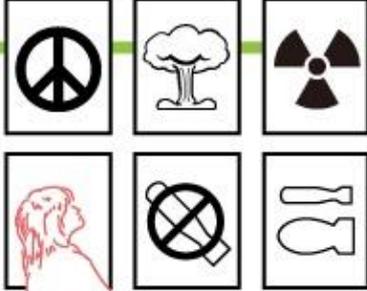
▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th\\_meeting/Action\\_Plan\\_2017-2020\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf)

【取組事例】



**「核兵器禁止条約」の  
早期締結を求める署名活動に  
取り組んでください**



**平和首長会議原爆ポスター展を  
開催しましょう**



**「広島・長崎講座」の普及に  
ご協力ください**

=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※現在被爆クスノキ二世の苗木の在庫が不足しているため、当分の間アオギリの苗木のみの配付となります。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: [rentai@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:rentai@pcf.city.hiroshima.jp)



**被爆樹木二世の苗木を  
育ててください**

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>

=====  
**■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について**  
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として「『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動」を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,764 自治体**  
=====

6月1日付で、8自治体が加盟し、加盟自治体数は7,764(163各国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

ドイツから、副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、7自治体が加盟しました。また、オーストリアから、フィラハ市が加盟しました。同市の姉妹都市であるドイツのバンベルク市の呼び掛けによるものです。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

▼6月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03\\_newmembers/2019/newmembers1906\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2019/newmembers1906_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

**平和首長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)